

目 次

まえがき	i
作成にあたって	ii
第1章 今日の環境問題と環境教育の必要性	1
1 今日の環境問題	1
2 将来世代のための合意の在り方 ～「持続可能な社会」～	2
3 環境教育の必要性	3
第2章 山形県における環境教育の取組み	5
1 学校教育における環境教育の取組み	5
（1）幼稚園や保育園等の取組みの例	5
（2）小学校の取組みの例	5
（3）中学校の取組みの例	6
（4）特別支援学校の取組みの例	6
（5）高等学校の取組みの例	6
2 県や市町村における環境教育の取組み	6
（1）県における環境教育の取組み	6
（2）市町村における環境教育の取組み	7
3 事業者、NPO等の民間団体における環境教育の取組み	7
第3章 山形県の学校教育における環境教育の基本的な考え方	9
1 めざす児童生徒像	9
2 学校教育における環境教育の内容で重視する視点	10
（1）「人間と自然環境」「人と人」「人と社会」とのかかわりに関する視点	10
（2）科学的な視点を踏まえた、客観的かつ公平な態度、判断力、 行動する姿勢に関する視点	11
（3）「いのち」の大切さや豊かな自然環境とその恵みを大切に思う心等の 内面の成長に関する視点	11
3 環境教育を進めるにあたって	12
（1）実践力の育成を重視した学習を	12
（2）目標の明確化と、継続した取組みを	12
（3）児童生徒の内面の成長を重視した取組みを	13
（4）家庭や地域、市民団体、専門機関等との連携を	13
第4章 学校教育における環境教育の計画	14
1 環境教育を進めるための計画づくり	14
（1）環境教育の目的の共有	14

(2) 家庭、地域等と協働した取組み	14
(3) 環境教育を通じた「つきたい力」の明確化	14
(4) 各学校における計画の作成	18
2 「つきたい力」と発達段階	18
第5章 学校教育における環境教育の実践	19
1 環境教育の実践方法	19
(1) 目標と「つきたい力」を明確にし、適時に評価しながら継続的に学ぶ	19
(2) 身近な題材をもとに、活動や体験を通して学ぶ	19
(3) 児童生徒同士や、家庭・地域とのかかわりの中で学ぶ	20
2 環境教育実践上の留意点	20
(1) ともに活動する機会を多く取り入れる	20
(2) 言葉や表現を重視した取組みを行う	20
(3) 自発的な企画、参画を引き出す	21
(4) 情報の信頼性に配慮する	21
(5) 安全に配慮する	21
3 評価の目的と方法	22
(1) 環境教育における評価の目的	22
(2) 評価の方法	23
4 それぞれの団体や地域、家庭等と協働した取組みとその留意点	23
(1) 家庭や地域と協働した取組みと留意点	23
(2) 専門家・専門組織・施設等との連携と留意点	24
第6章 環境教育推進のための教育行政の支援	25
1 教員の指導力向上のための支援	25
(1) 中央講習会等で得られた情報の提供	25
(2) 県教育委員会等が主催する講座の活用	25
(3) 県や市町村のさまざまな機関が主催する講座・活動等の活用	25
(4) ファシリテーターやコーディネーターの育成及び協働した取組みの支援	25
2 学校の環境教育の活性化のための支援	26
(1) 情報の収集と提供	26
(2) 学校等の活動の紹介	26
(3) 環境教育にかかわる連携活動	26
(4) 環境教育の参考となる図書教材や視聴覚教材の整備	26
資 料	27